

# 第51回 日本保健医療社会学会大会

51st Annual Meeting of The Japanese Society of Health and Medical Sociology

## Health and Medical Sociology in Motion

### 「越境」をさぐる

大会長

平野 裕子

長崎大学生命医科学域保健学系

2025

5/24<sup>土</sup>-25<sup>日</sup>

#### 大会長講演

#### 保健医療社会学における『越境』をさぐる

演者 - 平野 裕子 (長崎大学 教授)

座長 - 林 千冬 (神戸市看護大学 教授)

#### 記念講演

#### ベトナムにおける介護者研修プログラム実施の可能性と課題

演者 - Pham Duc Muc (ベトナム看護協会 会長)

座長 - 比留間 洋一 (静岡大学 講師)

#### 大会シンポジウム

#### アジアの目を通して日本の介護を問い直す

演者 - 小川 全夫 (九州大学 名誉教授)

Susiana Nugraha (University of Respati Indonesia 講師)

伊藤 尚子 (京都府立医科大学 准教授)

指定討論者 - 佐伯 みか (順天堂大学 講師)

座長 - 美馬 達哉 (立命館大学 教授)

会場

長崎大学

医歯薬学総合教育研究棟

長崎県長崎市坂本1-7-1 (駐車場は利用不可)

参加費

一般会員 6000円、一般非会員 7000円

学生・シニア会員・割引会員 2000円

学生・シニア・割引非会員 3000円

介助者・引率者の方は無料

※割引の対象となる方: 月収15万円以下の方・自己申告

開催方法

対面 + Web開催(事前申し込み者のみ対応)

申し込み方法

(1) 事前申込: 対面+リアルタイムWeb参加

(※Web参加は事前申込者のみの対応です)

申込期限: 2025年5月18日(日) 23:59まで。

支払い方法: クレジットカード決済、ゆうちょ銀行振り込み

Webもしくは裏面QRコードよりお申し込みください。

(2) 当日申込: 対面のみ

支払い方法: 当日会場受付にてクレジットカード払いのみ対応予定

▶ 大会事務局

〒852-8520 長崎県長崎市坂本1-7-1

長崎大学医学部保健学科内 第51回日本保健医療社会学会大会事務局

✉ jshms51ngs@gmail.com

▶ 大会ホームページ

第51回日本保健医療社会学会大会



<https://jshms-conference2025.jp/>





# プログラム

program

第51回 日本保健医療社会学会大会  
51st Annual Meeting of The Japanese Society of Health and Medical Sociology

Health and Medical Sociology in Motion

「越境」をさぐる

▶ 2025年5月24日(土) - 25日(日)

## ▶ 一般演題 (口演)

※演題はメインタイトルのみ表示

### 外国人人材と多文化共生

- ・Developing a meal assistance and oral care training program for caregivers in Indonesia
- ・外国人看護師と協働するための日本人看護師向け教育プログラムの効果
- ・日本で働く外国人看護師の協働実践に関する現象学的研究
- ・看護師が専門分野教育時に抱く日本語教育の意識
- ・介護現場における異文化間スキーマの相違と表現解釈の比較

### 医療的実践とフィールドワーク

- ・カフェ厨房における障害のある/ないスタッフの協働実践
- ・病棟看護師が外来で行うその場での解決と継続看護
- ・退院支援カンファレンスのワークの研究
- ・幻覚(Hallucination)論におけるAIと保健医療のEMの交流可能性
- ・みえる身体、みえない機械

### 在日外国人患者と多文化共生

- ・在日外国人女性の乳がん検診受診行動
- ・外国にルーツをもつ発達障がい児/家族へ通訳をする医療通訳者向け教育プログラム開発のためのスコーピングレビュー
- ・災害時の日本在留外国人支援のための災害情報に関する文献検討
- ・ムスリム移民女性の乳がん・子宮頸がん検診受診を促す介入
- ・中高年在留外国人女性向け健康進プログラムの評価

### 医療・規範・社会

- ・「罪深い知」とプロフェッション
- ・比喩としての「アレルギー」
- ・篤志献体の制度化における「報恩」の原理
- ・Social Multi-dependence Scaleの開発と検証
- ・二つの市民権のはざままで

### 医療者の課題

- ・医療的ケア児の就学を支える看護師の配置と雇用の課題
- ・男性看護職者の言説から見た看護の歴史
- ・東日本大震災被災地域で暮らすある糖尿病患者の生活
- ・派遣医師の悩みを共有する場の構築に関する文化人類学的考察
- ・日本におけるCOVID-19を通じた集団化
- ・医薬品供給不足の構造的分析

### 家族と医療・介護

- ・子を持つ乳がんサバイバーのライフストーリーから探る 病いと向き合い方
- ・診断名の付与による母親のアイデンティティの変化
- ・新生児集中治療室(NICU)での経験
- ・ドナー家族が脳死下臓器提供の承諾に至る仕方とその立場
- ・認知症者の問題行動に対する家族介護者の対応困難についての研究

### 医療と社会的認識

- ・化学物質過敏症患者の「横断-身体性」の経験とその意味
- ・摂食障害をめぐる医療者の「回復観」
- ・発達障害者の「擬態」に関する予備的考察
- ・睡眠と覚醒のあわい
- ・男性型胸壁形成術とその保険適用化が当事者に及ぼす影響について

### 保健医療とアート

- ・アートがひらく自己超越(セルフトランセンデンス)の可能性
- ・プロデュースされるプロデューサー
- ・音楽を言葉にする実践
- ・ジェンダーの視点から見る、前立腺がん啓発ポスター

### 保健医療政策と社会

- ・地域の文脈で紡がれる「混在的なケア」の展開可能性
- ・介護者の精神的健康に影響する要因構造
- ・通常の学校で看護師が用いる医療的マニュアルは、成長・発達の概念が必要である
- ・インクルーシブ教育における合理的配慮の状況
- ・生活保護受給者に対する就労支援ケースワーク評価尺度開発

## ▶ 一般演題 (ポスター)

- ・ヘルスリテラシーに着眼した健康政策の実態
- ・シェアサイクルに関する価値意識とwell-being及び精神健康

- ・支援法施行後の医療的ケア児と家族の生活とQOL
- ・大学で学ぶ中高年者の健康リスク発見につながるサインは何か？

## ▶ Round Table Discussion

- ・血友病周辺女性の経験
- ・出生前検査の意思決定支援において、看護職はなにを考えているのか？ 感じているのか？
- ・パンデミック等の感染症流行時、病院・施設の専門職は患者/利用者及び家族にどう対応すべきか
- ・ナラティブなアプローチで共支援的に変容する臨床/医療の場
- ・現象学的研究成果を医療現場に実装化するための「越境」をさぐる
- ・外国人介護士の力を活かすためには

- ・看護の「越境」をさぐる
- ・気候変動時代における公衆衛生
- ・外国人看護師の日本における活躍に向けて、必要な支援と今後の課題
- ・インドネシア人、ベトナム人、日本人ケア専門家の「越境」経験
- ・「生きる権利9」現場からの安楽死再考
- ・外国人看護師・介護士の日本語習得をめぐる研究者と実践者の越境
- ・施設介護と在宅介護の越境

▶ 事前申し込み用QRコード



5月24日、25日の大会にご参加の方は、QRコードから事前申し込みをお願いします。

▶ 大会事務局からのアンケート



長崎市内でのご宿泊やお弁当に関するアンケートにご協力ください。